

●● 地域と南風病院を結ぶ

# 南風便り

なんぷうだより



特集

## 「もの忘れ外来」の実績と今後

### CONTENTS

シリーズがん 南風病院の実績 **すい臓がん** 4  
画像診断+病理学検査

新任ドクター紹介 ..... 5  
南風臨床カンファレンスのご案内  
健康講座・医療講演会への協力について  
シリーズ 地域で支える ..... 6



# 「もの忘れ外来」の 実績と今後



脳神経外科部長  
横山 俊一

画像診断による早期発見の充実と  
医療・介護との連携による  
支援体制の構築を目指す

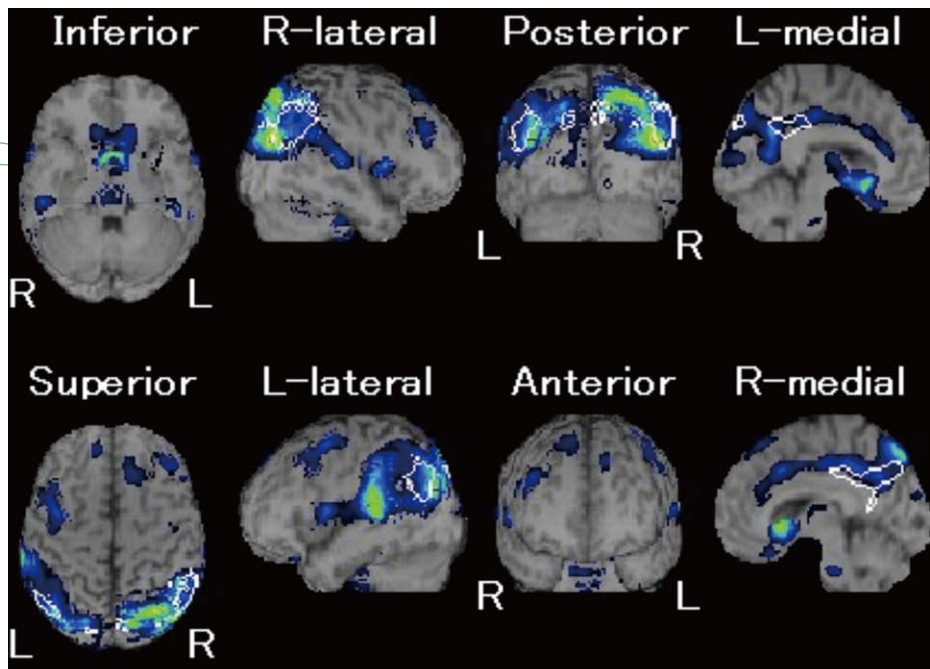
南風病院は2007年、脳神経外科に「もの忘れ外来」を設置し、認知症の早期発見・早期治療に尽力してきました。MRIや脳血流スペクト検査などの画像を活用した診断が支持され、この5年で、外来患者数は大きく伸びています。今回の特集は、「もの忘れ外来」のこれまでの取り組みと、今後の方針について報告します。

## 増え続ける認知症患者数。早期発見で適切な支援が可能に。

世界保健機構（WHO）は先ごろ、「認知症の発症は世界中で増えており、有効な対策をしないですと2050年までに現在の3倍の1億1500万人に膨れ上がる」と発表しました。国内でも患者数は増えており、05年は200万人だったものが、10年には250万人に増加し、15年には300万人になると推計されています。（厚生労働科学研究費補助金研究分担報告書2008より）

増加の要因として、高齢化のほかに、高血圧や糖尿病などの生活習慣病も発症に大きくかかわることが報告されています。ふだんの生活が密接にかかわる身近な病気であることの理解を広めていかなければいけないと感じています。

南風病院では、07年から脳神経外科で「もの忘れ外来」を開設しています。当院は、多くの診療科をもつ総合的な病院ということから、ご家族やかか



脳血流スペクト検査画像



MRI画像

りつけ医の先生からも「利用しやすい」という感想をいただいています。

当院の「もの忘れ外来」の特色は、画像検査を駆使した診断です。CTやMRIのほか、脳血流スペクト検査などを使用し、脳の委縮や血流の状態などの客観的な指標をもとに診断しています。県内では

まだ、「もの忘れ外来」で前述の画像診断をすべて取り入れている医療機関は少なく、認知症の原因を探るだけでなく、認知症以外の病気を除外するという「鑑別診断」の役割を担っているのです。例えば、慢性硬膜下血腫や正常圧水頭症は、アルツハイマー病などと似た症状が現れますが、脳の状態を画像で見ると、明らかな違いが現れます。原因となっている障害を手術で取り除くと、症状が顕著に改善していきます。

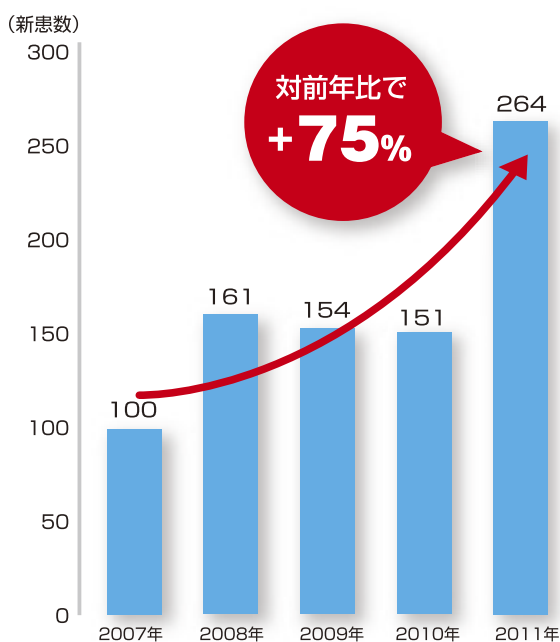
当院には昨年までに約900人の患者さまが来院され、MRIはほぼ全員、脳血流スペクト検査は約800人が検査を受けました。これらの検査によりの確な診断ができ、その後の適切な治療に生かしていったと考えています。

## 認知症専門スタッフの配置で、さらに充実した医療提供を目指す

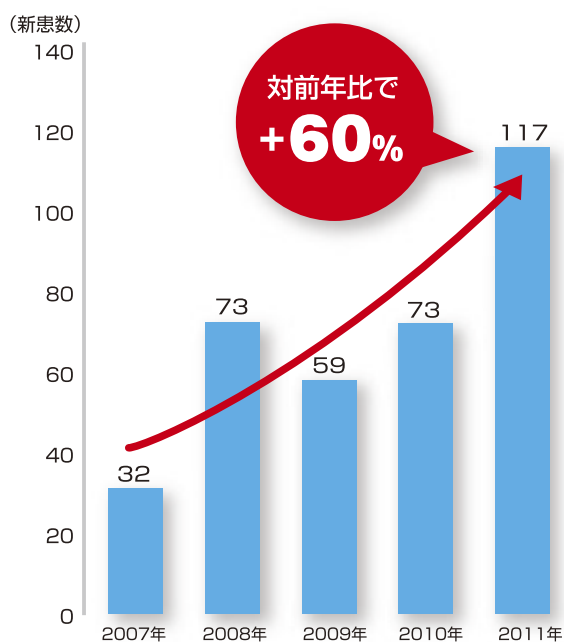
現在、「もの忘れ外来」には月平均25人以上の患者さまが新規で来院されます。07年の開設時の11人から徐々に増え、昨年、一気に増加しました。患者さまやご家族が自発的に来院されるケース、かかりつけ医の先生からの紹介のいずれも増加しています。

全患者の約4分の1が鹿児島市外からの方で、離島や県外からの患者さまもいらっしゃいます。市外のかかりつけ医の先生からの紹介も約2割に増え、広い範囲から当院が支持されていることが分かり、重い責任を感じています。

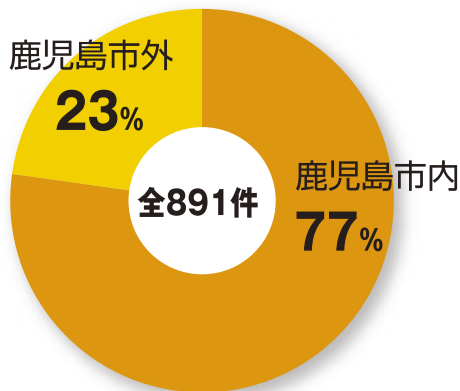
### 物忘れ外来新患数



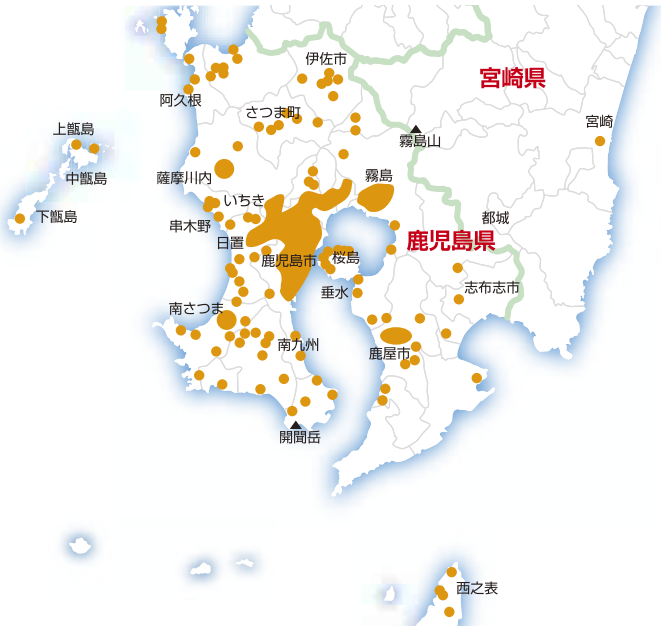
### 物忘れ外来新患数(紹介)



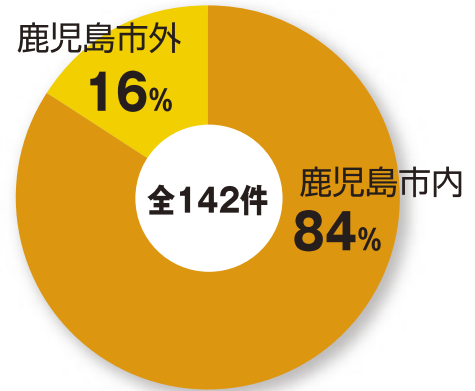
患者数



分布図



紹介医療機関



分布図



外来患者さまの増加の背景には、「早期発見による適切な治療やケアが重要」という意識が広まってきたことが挙げられると思います。私どもは、「もの忘れ外来」開設時から、保健センターや公民館で認知症予防教室を開催し、啓蒙を図ってきました。今後も一般に向けて適切な情報提供をおこなっていききたいと思います。

当院が今後目指すものは、認知症疾患医療センターにも劣らない認知症医療の質の向上です。認知症疾患医療センターの指定には、スタッフとして認知症専門医のほか、臨床心理技術者、精神保健福祉士の配置が求められています。当院では、

すでにこれらスタッフを配置し実績を上げています。また、精神科との連携や地域の先生との勉強会の準備も進め、認知症に対する理解を深める活動もおこなっています。

当院は、精神科や療養病床を持たない急性期の病院です。認知症治療での役割は、認知症の鑑別診断という“入口”の部分を担当することだと考えています。かかりつけ医の先生や介護事業所と連携を取り合って、認知症と診断された患者さまが、ご家族とともに自宅で長く暮らせるように、支援していきたいと考えています。

画像診断  
+病理学検査

画像診断のほかに病理学的な検査を加え、  
すい臓がんの早期発見を目指す。

初期症状が少ないすい臓がん。  
糖尿病の急な悪化は発症のサイン

すい臓がんは、発見したときには手術できない状態になっていることが多く、5年生存率は全国平均で12%と低い数値で推移しています。初期症状が少なく、臓器自体が腹部の奥の方にあるために早期発見が困難なことが原因です。

検査による発見が難しいがんですが、糖尿病の急激な悪化が、すい臓がんの発見の手掛かりになる場合があります。すい臓がんになると、血糖を調整するインスリンが正常に分泌されなくなるためです。

南風病院では、内科とも協力し、糖尿病の治療中に急に悪化した患者さまには、超音波やCTによる精密検査をおこなっています。

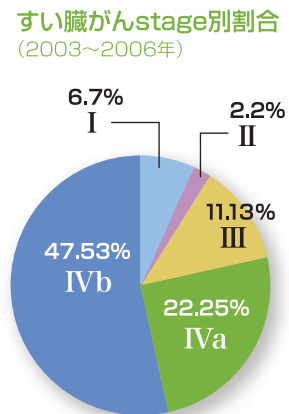
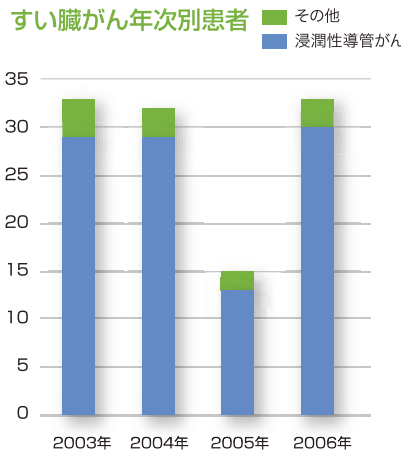


消化器内科  
副院長兼消化器病センター所長  
新原 亨

腹部超音波検査で軽度のすい管拡張をチェックして早期診断を

すい臓がんの早期発見のためには、無症状でも定期的な超音波検査をお勧めしています。超音波検査で、すい管径が2mmを超えているのを発見した場合、CTおよびMRIでさらに詳しくすい臓の状態を精査します。

これにより、手術可能な段階での発見も増加傾向です。また、切除不能と診断されても化学療法や放射線治療を施し、がんを小さくした上で切除可能となるケースも増えており、5年生存率も向上しています。



コンベックス型超音波内視鏡導入により診断能が向上

南風病院は4月、コンベックス型超音波内視鏡装置を導入しました。超音波内視鏡は、内視鏡で直接観察できないすい臓や胆道など深部の臓器の精査に用いられています。今回導入した超音波内視鏡は、臓器を確認しながら目的部位の組織の採取(超音波内視鏡下穿刺生検法=EUS-FNA)ができる機器です。組織を病理で検査することで、がんなのか炎症性の腫瘍なのかを正確に診断できるようになりました。CTやMRIなどの画像診断に加え病理学的な根拠が得られるため、治療方針の選択は、今まで以上に的確なものとなっています。

がんの正確な診断のために、病理との共同研究をスタート

南風病院では今年7月から、鹿児島大学病院病理部と共同で臨床研究も開始しました。腫瘍の悪性度とムチン性糖蛋白の関連性等を研究するもので、がんの発生や進展を明らかにするためにも重要だと認識しています。

南風病院はこれからも、患者さまに最適な最新の医療を提供しつつ、医学の進展にも寄与できるような取り組みを続けていきたいと考えています。

## 新任ドクター紹介 2012年7月以降、当院にあらたに着任した医師をご紹介します。



放射線科科長  
谷 淳至

3年振りに南風病院に帰ってきました。読影専門のため患者さまと直接お会いすることはありませんが、きめ細かく画像を見て適切な診断につなげたいと思います。



循環器内科科長  
久保 忠弘

合併症のある方などにも対応していきます。病院理念の「人にやさしく、あたたかく」の実践と丁寧な対応を心がけています。聞きたいことは遠慮せずに聞いてください。



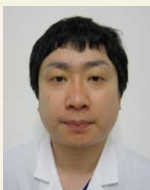
外科・消化器外科科長  
瀬戸山 徹郎

鏡視下手術を含む消化器外科が専門です。患者さまと一緒に、病気に立ち向かい治していく姿勢を大事にしています。後輩医師にも伝えていきたいと思っています。



外科・消化器外科  
恵 浩一

消化器外科を中心に対応しています。患者さまが話しかけやすいように、清潔感と笑顔を忘れないことがモットー。医師にも、遠慮せずに話しかけてくださいね。



外科・消化器外科  
川越 浩輔

医師になって3年目です。南風病院では、基本的な手技を確実に身につけ、将来は腹腔鏡下手術もできるようにになりたいと思っています。



整形外科・小児整形外科  
城光寺 豪

入局したばかりの1年目です。スポーツ整形、小児整形に興味がありますが、骨折や一般的な手術など、基本的なことを早く自分のものになりたいと思います。

病院からの  
お知らせ

### 南風臨床カンファレンスのご案内

当院では、年2回「南風臨床カンファレンス」を開催しております。症例検討や新しい診療技術についての情報提供などをおこなっています。毎回、地域の先生方が30～50名参加され、当院医師と活発な意見交換をおこなっていらっしゃいます。本年度も7月・1月に開催を予定しております。カンファレンスの日程・内容が決まり次第ご案内をお送りいたしますので、お気軽にご参加ください。

### 健康講座・医療講演会への協力について

当院は、地域医療支援病院事業の一環として地域の団体や企業など開催される健康講座や医療講演会への講師派遣を積極的におこなっております。また、地域の先生方と共同での健康教室開催にも対応しております。医師だけでなく認定看護師への要望にも対応可能ですので、医療連携室までご相談ください。



健康講座

南風病院は、地域の先生方との連携を進めています。共同診療や医療機器の共同利用、勉強会を通じての連携のほか、日ごろの臨床面で協力しあえる関係作りにも取り組んでいます。今回は、鹿児島市吉野町の「三船病院」さまとの療養型の地域支援についてご紹介します。

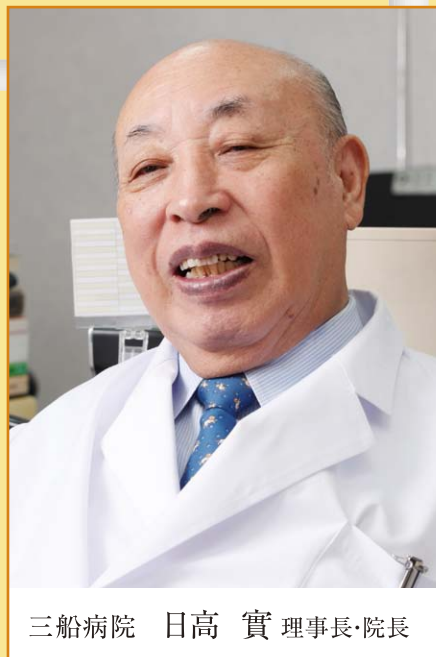
### Q 「三船病院」さまは、古くから吉野町で医療を提供していらっしゃいます。

当院は、戦前に結核療養所として建てられた古い病院で、1942年から私どもの法人が運営するようになりました。当初は結核や肝臓の患者さまを受け入れていましたが、その後は老人医療に特化するなど、「断らない医療」をモットーに地域が求めている医療を提供してきました。現在では、医療必要度の高い療養患者さまの受け入れ先としての機能を果たしたいと考えています。

### Q 南風病院とは、どのような連携を取っていらっしゃいますか。



南風病院で急性期の医療が終了し、療養期に移る過程の方を受け入れています。具体的には、呼吸器管理が必要な方や胃ろうを作られている方、整形外科分野では壊死のため切断手術を受けた方など、療養期の中でも医療的関わりが必要な方がほとんどです。当院では、人工呼吸器をつけておられる患者さまも約30人いらっしゃいます。また、当院に転院された後、胃ろうが必要になる方もいらっしゃいます。比較的簡単な手術は当院で担当し、高度な医療が必要な場合は南風病院に協力していただくなど、双方向の連携が取れていると思います。



三船病院 日高 實 理事長・院長

### Q 南風病院に期待することは何でしょうか。

南風病院の各診療科における高い専門性や診断技術、治療経験を生かし、地域に高度な先進医療が提供されることを期待しております。当院のような後方支援を担う病院としましては、先生方に患者様の治療についての方向性をご教示頂き、スタッフの皆様に見守りやリハビリテーションを含めご指導、ご助言を頂ければ、より連携が深まり、長期療養を必要とされる患者様やご家族の安心へとつながるのではと考えます。

財団法人東風会 三船病院



鹿児島市吉野町10,004番地1  
Tel.099-247-3016



理念 **人にやさしく、あたたかく**

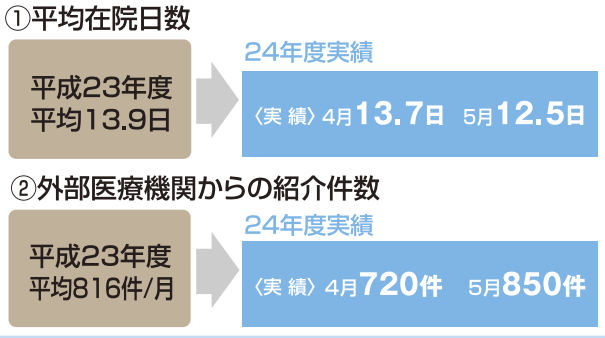
基本方針

- 1 医療を通して地域社会に貢献する
- 2 患者さま本位の診療を行う
- 3 最新の医療の提供に努める
- 4 活力に満ち、働きがいのある職場を目指す
- 5 病院として健全な発展を続ける

医療機器・設備

PET/CT(2台)、MRI(1.5T:2台)、CT(64列・16列MSCT)、RI(SPECT-CT)、乳房X線装置、血管造影装置、X線TV装置(DR:2台、FPD-DR:1台)、移動型X線TV装置(2台)、ポータブル装置(2台)、一般撮影装置(CR:3台)、骨密度測定装置、PACS、超音波診断装置(12台)、内視鏡装置(上部・下部・小腸・気管:7台)、カプセル小腸内視鏡、腹腔鏡内視鏡装置、超音波内視鏡装置、自動染色装置、生化学自動分析装置、免疫・感染測定装置、輸血検査システム、全自動血液凝固測定装置、多項目自動血球分析装置、多機能心電計、脳波計、聴力検査装置、肺機能検査装置、筋電図誘発電位検査装置、磁気刺激装置、眼底装置、高気圧酸素装置、人工透析(34床)、医療サウナ室、集中治療室(ICU6床)、手術室(5室) 他

統計報告



鹿児島県がん診療指定病院  
 地域医療支援病院  
 臨床研修指定病院  
 日本医療機能評価機構認定病院

**公益社団法人鹿児島共済会 南風病院**  
 〒892-8512 鹿児島市長田町14番3号  
**TEL 099-226-9111**  
 FAX 099-223-1573 URL <http://www.nanpuh.or.jp/>

ウェブ

診療科目

内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科・人工透析内科、神経内科、肝臓内科、ペインクリニック内科、外科・消化器外科、脳神経外科、整形外科・小児整形外科、放射線科、麻酔科、病理診断科

診察受付時間

受付時間 月～金曜日 午前8時～11時 午後1時30分～4時※  
 土曜日 午前8時～11時

外来予約窓口：外来のご予約・変更・キャンセル TEL.099-805-2259  
 月～金曜日 9時～16時 土曜日 9時～12時

診察時間 月～金曜日 午前8時30分～12時30分 午後2時～5時30分※  
 土曜日 午前8時30分～12時30分

休診日 日曜・祝日 お盆(8月15日) 年末年始(12月31日～1月3日)

※午後の診察は専門外来と予約制の診療科のみとなります。  
 ※診療科により休診がございます。ご確認の上、来院をお願いいたします。

◆面会時間/午後2時～8時 ◆許可病床数/338床 ◆駐車場/250台

交通アクセス

- J R 鹿児島中央駅下車/車約15分  
鹿児島駅下車/車約3分・徒歩約10分
  - 市電 桜島棧橋通り電停 下車/徒歩約5分
  - 市バス 11番線(下竜尾町バス停下車)
  - 高速バス 鹿児島(天文館)バス停下車/車約10分
- ※桜島棧橋からは車約3分・徒歩約15分となります。



地域と南風病院を結ぶ「南風便り」32号  
 発行/公益社団法人鹿児島共済会 南風病院 〒892-8512 鹿児島市長田町14番3号  
 発行日/2012年7月●ご希望の方に配付いたします。